平成２６年4月２５日

各　　位

会 社 名　アイフル株式会社
代 表 名　代表取締役社長　福田　吉孝
（コード番号：8515　東証第１部）
問合わせ先　財 務 部 長　山内　郁雄
ＴＥＬ　075-201-2010

業績予想に関するお知らせ

平成 25 年５月 14 日に公表いたしました「平成 25 年３月期決算短信」において未定としておりました、平成 26 年３月期通期連結業績予想について、下記のとおりお知らせいたします。

記

１．平成 26 年３月期通期　連結業績予想数値（平成 25 年４月１日～平成 26 年３月 31 日）

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	１株当たり当期純利益
前回発表予想（Ａ）（平成 25 年５月 14 日発表）	百万円 ―	百万円 ―	百万円 ―	百万円 ―	円 銭 ―
今回予想（Ｂ）	91,800	22,400	24,700	30,400	63.21
増減額（Ｂ－Ａ）	―	―	―	―	―
増減率（　％　）	―	―	―	―	―
（ご参考）前期実績（平成 25 年３月期）	99,619	14,718	17,646	22,705	47.21

（注）当社は、平成 25 年 10 月１日付で普通株式１株につき２株の割合をもって株式分割を行っております。これに伴い、平成 25 年３月期連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたものと仮定し、「1 株当たり当期純利益」を算定しております。

２．公表の理由及び通期連結業績予想に関する定性的情報

当社グループを取り巻く事業環境は、未だ利息返還請求の動向が不透明であることから、合理的な業績予想の算定が困難な状況にあり、平成 26 年３月期（平成 25 年４月１日～平成 26 年３月 31 日）業績予想を未定としておりましたが、合理的算定が可能な状況となりましたのでお知らせいたします。

平成 26 年３月期通期連結業績予想における営業収益は、営業貸付金の減少に伴い利息収入が減少したことを主要因として 918 億円と、減収になる見通しです。営業費用においては、金融費用や広告宣伝費は減少する一方、貸倒引当金を保守的に繰入れたことから貸倒費用が増加する見通しであります。また、利息返還請求においては未だ不透明な状況が続いていることから利息返還損失引当金の繰入を 18 億円行うことといたしました。これにより、営業利益は 224 億円となる見通しです。

このほか、第１四半期で既に計上しております、ビジネクスト株式会社に係る合弁事業の発展的解消に伴う、負ののれん発生益 23 億円、債権買取益 38 億円等、特別利益を計上することにより、当期純利益は 304 億円となる見通しです。

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づく見通しであり、最終の業績は今後の精査結果等、様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以　上